

農林水産大臣賞

農事組合法人ドリームアグリ杓掛^{くつかけ}（滋賀県愛荘町）



集落全戸での清掃活動



田植え体験

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

平成に入るところには、周辺の開発が進み、農家の兼業化はさらに進み、地区の農地所有者も高齢者中心で、農業をやめようと考えている者も多くなっていた。このような状況の中で、平成8年に現代表理事が農業組合長になったとき、「杓掛の農地は杓掛の者で守らなければならない」という意識から、滋賀県が推進していた「集落営農ビジョン事業」の取組を契機に集落内の若手メンバーが中心となり平成10年2月に杓掛営農組合が結成され、その後無借金で10年以上継続している。

一方で、今後の10年を考えた場合、農地の利用権を集積し、組織の体質強化を図るとともに、認定農業者となり集落外の農地の受託拡大を行う必要性や生産物の販売にも取り組み、集落内への米の販売を拡大するためにも法人化することとし、平成22年1月にドリームアグリ杓掛が設立された。

（２）むらづくりの内容

- ・「儲からないけど損をしない集落営農を目指して」を合い言葉に、発足以来10年以上経営の安定化を図っている。
- ・杓掛のほぼ全域を集落一農場方式による協業型の集落営農で守り優良農地の転用阻止を図っている。
- ・集落全戸出役しての用排水路の清掃等、非農家の住民がドリームアグリを支えるという、農と住民との共生の関係が生まれている。
- ・滋賀県基準の環境こだわり農産物認証制度で米を生産し、学校給食へ販売するほか、集落内消費の57%を直接販売するなど、環境保全型農業や地産地消に取り組んでいる。
- ・子供会や小学校の田植え・稲刈り体験、修学旅行中学生の農家民泊等の都市農村交流活動を積極的に行う。